

2017年度(平成29年度)事業計画の概要

1 圏域全体の経済成長のけん引

(1) 圏域全体の産業振興の仕組みづくり

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 成長戦略のフォローアップ	—	—	—	成長戦略の進行管理, 「びんご圏域活性化戦略会議」の運営, 事業の評価と見直し等を行う。
イ 備後圏域産業連関表の作成・活用	粗付加価値額	9,575億円 (2013)	10,500億円以上 (2019)	圏域全体の産業振興に資する備後圏域産業連関表を作成し, 活用する。
ウ 産業支援拠点機能の充実	粗付加価値額	9,575億円 (2013)	10,500億円以上 (2019)	産学金官が連携し, 企業の経営革新, 技術革新, 人材育成等, 圏域における産業振興に必要な拠点機能の充実に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

- 連携中枢都市圏全国会議の開催(開催地:福山市, 主催:総務省)
- 【新】びんご圏域ビジョン中間評価(連携事業の効果検証のための調査, 分析, 評価等)
- 備後圏域産業連関表の活用
 - ・域内経済の現状把握や経済施策の立案・検証等について, 経済波及効果算出システムなどを活用しながら取り組む。
- 福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz
 - ・専門家によるビジネスコンサルを通じ, 売上向上・創業支援に重点をおいた経営相談を行う。また, 臨時的な専門アドバイザー(デザイン・ITなどのスポット相談員)の活用等について検討する。
- ものづくり人材育成支援事業
 - <ものづくり大学>
 - ・圏域市町, 産業支援機関, 大学等が実施する研修, 講演会, イベントを一体的に発信する。
 - ・ポリテクカレッジ福山や福山大学等と連携したセミナーを実施する。
 - <びんご産業支援サイト>
 - ・びんご産業支援サイトの周知強化を図ると共に, 関連団体へ継続的にセミナー情報入力を促しHPを充実させる。

(2) 中小企業事業者等への支援

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進	粗付加価値額	9,575億円 (2013)	10,500億円以上 (2019)	異分野異業種の合同研修や中小企業の経営改善, 大学又は様々な業種とのマッチング等を進めるびんご産業支援コーディネーターの育成や活動支援等
イ 女性の創業支援	女性の労働参加率 (30~34歳)	67.5% (2010)	67.5%以上 (2019)	産学金官で連携することにより, 女性が働きやすく, 創業できる環境整備に取り組む。
ウ 地域の産業集積による競争力向上	粗付加価値額	9,575億円 (2013)	10,500億円以上 (2019)	圏域の企業が, ものづくり技術を活用し, ご長寿産業等の新たな分野への参入や新たな製品開発に取り組むことができるよう支援する。また, 圏域に集積する先端ものづくり技術や地域資源等の効果的な発信に取り組むなど, 販路開拓等を支援する。
エ 雇用対策	製造業 従業者数	80,535人 (2013)	81,900人以上 (2019)	圏域内の市町が連携し, 若者や女性, 高齢者, 障がい者の就労支援等, 雇用の促進に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○びんご産業支援コーディネーター派遣事業

- ・圏域内の企業にコーディネーターを派遣し、経営課題の解決に向けた助言等を行う。
- ・びんご産業支援コーディネーター制度の周知を強化するため、HPやチラシ等を充実させるとともに、金融機関と連携した取組を進める。

○【新】備後圏域女性活躍促進事業

<駅前カフェ設置事業>

- ・若年女性を対象とした登録制カフェを設置し、就職関連情報の提供や、各種セミナー・相談会等を実施する。

<女性の活躍ポータルサイトの開設・運営>

- ・身近な事例の紹介やイベント・セミナーの情報を届けるポータルサイトを開設し、運営する。

<イーコマース(EC)講座>

- ・Web上での商品取引についての講座を開催する。(出店方法、PR方法など)

○デニムプロジェクト(デニム産地PRの強化)

- ・備後圏域で共通の地域資源である「デニム」について、国内デニム産地の情報発信を強化し、認知度向上を図る。(工場見学ツアー、フォトコンテスト、ウェブサイト構築 等)

○U・Iターン就職支援事業(企業情報の提供、家族への相談会の実施、定住フェア等への参加)

○学生の地元定着支援(就職報告会、企業見学バスツアー等)

○若年者就職支援事業(圏域外の学生と備後圏域企業の交流会等)

○障がい者の雇用対策(福祉的就労)(就労移行に対する相談や助言等の実施)

○都市圏からの人材呼び戻し事業【三原市】

- ・企業の採用担当者を対象に、PR方法等の研修や都市圏等で開催される就職ガイダンスへの参加を支援する。

○地場産業振興センター人材育成事業(織物研修会)【井原市】

- ・備後圏域の優れた織物技術を伝承するため、織物の設計・分解等の基礎知識を養う研修会を開催する。

(3) 第一次産業の活性化

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 6次産業化の推進	農林水産業の就業者数	16,246人 (2010)	15,200人以上 (2019)	圏域内の地域資源を活用した農林水産業の新たな付加価値の創出を図る6次産業化を推進することで、雇用創出や地域経済の活性化に取り組む。
イ 第一次産業振興のための環境整備	農林水産業の就業者数	16,246人 (2010)	15,200人以上 (2019)	第一次産業の担い手の確保や生産基盤の整備等に取り組むとともに、地域間連携・異業種間連携による瀬戸内の小魚の地域ブランド化等を推進する。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○6次産業化の推進

<販路開拓推進・6次産業化促進事業>

- ・農林水産物に新たな付加価値を創出するため、6次産業化や農商工連携を推進する。

<備後圏域ワインプロジェクト>

- ・ワインに関する情報発信の強化(各種イベントへの出店等による備後産ワインのPR)

- ・ワイン事業者支援事業(福山大学連携)(福山大学の持つノウハウや設備を活用し、ワイン事業に興味のある農家等が、果樹などを試験的に醸造する支援を行う。)

○水産物ブランド化推進事業

- ・「備後の地魚応援団」を中心に「備後フィッシュ」の消費拡大及び流通促進を図るため、魅力発信及び認知度向上等の活動を継続する。

○【新】農業の魅力創出・発信事業

＜担い手発掘事業＞

・各地域の農業の魅力や就農支援情報を発信し、就農希望者の発掘を行う。

＜世羅町農業体験＞

・就農に向けた農業体験の実施

(4) 戦略的な観光振興

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 戦略的な観光振興	総観光客数	20,920千人 (2014)	24,000千人 (2019)	圏域内の観光資源を見つめ直すことで、圏域全体の魅力に磨きをかけ、圏域外からも多くの観光客を引き付ける取組を推進する。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○広域連携による観光施策の推進

・広域観光ルートの商品化に結び付け、発信する総合的なプロモーションを行う。

(Webデータを活用したプロモーション, 2016年度に作成したパンフレット・マップを活用したプロモーション, プロモーションの効果検証)

○まちぐるみ・まちグルメ【府中市】(「備後府中食博29」での、圏域内等特産品PRの実施)

2 高次の都市機能の集積・強化

(1) 高度医療の充実や強化

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 高度な医療サービスの提供	看護師等の圏域内就職率	56.1% (2014)	60.0% (2019)	圏域における安心・安全な医療提供体制の確立をめざし、医療連携の促進と圏域全体の医療の質の向上に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○看護職員確保対策事業

＜看護職員確保事業＞

・離職中の看護職員に対する再就職支援セミナーの開催, 看護師等養成施設への補助を行う。

＜看護職員啓発事業＞

・圏域の看護職を夢見る中学生や高校生等を対象に、看護職に就くための方法や就職先、支援制度等を掲載した冊子を作成し配布する。

○高度医療機器の整備

(2) 広域的な都市基盤の整備

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 広域的な都市基盤の整備	市街地等居住率	69.7% (2016)	69.85% (2019)	備後圏域の将来の発展を見据え、公共交通網の整備等、圏域全体の住民の利便性の向上や企業の拠点強化につながる都市基盤の整備に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○立地適正化計画等の策定

- ・立地適正化計画等の策定状況について情報共有及び調整を行う。
- ・各都市の都市機能の集客範囲の検討を行うとともに、当該都市機能を結ぶ公共交通のネットワークの状況の調査を行い地図化する予定。

○地域公共交通再編実施計画策定

- ・福山市と笠岡市が連携して計画策定を行うとともに、広域路線に関して周辺市町の同等計画との整合性を図る。

(3) 高等教育機能の充実や強化

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 次世代の人材育成に向けた高等教育の充実	大卒者の圏域内就職率	35.7% (2014)	40.0% (2019)	大学や研究機関、企業等と連携し、圏域のシンクタンク機能を高めることで、幅広い分野で備後圏域の発展を支える人材の育成に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○大学連携の推進

- ・知の交流拠点としての大学の役割の一つとして、6大学が一堂に会して広く市民を対象にした公開講座を開催する。
- ・各大学の公開講座の情報を集約したチラシを作成し、連携して受講者が増えるよう取り組む。

○グローバル人材の育成

- ・国際経営理論及び海外進出企業のケーススタディから学ぶ講義のほか、真に国際社会で活躍できる人材育成を行うため、備後圏域内企業の海外事務所を訪問、講義での学習との相乗効果を図る。

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

(1) 医療や福祉サービスの充実

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 地域医療の充実	圏域住民アンケート調査「医療施設や医療に係る公的支援が充実している」	△4.9%ポイント (2014)	±0%ポイント以上 (2019)	地域医療の充実を図るため、各医療機関のネットワークの強化や機能に応じた役割分担、救急医療体制等の連携強化を促進する。
イ 高齢者や障がい者等の福祉の充実	介護を必要としている高齢者の割合	20.6% (2013)	22.8% (2019)	高齢者や障がいのある人等が、いつまでも住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができる環境整備を推進する。
ウ 子育て支援の充実	合計特殊出生率	1.59 (2008～2012)	1.70 (2013～2017)	産前産後の母子を支援する取組や発達に課題のある子どもへの支援等に取り組む、圏域における子育て支援サービスの向上に向けた環境整備を進める。
エ 健康づくりの推進	運動普及推進員、食生活改善推進員総数	2,920人 (2014)	3,420人 (2019)	健康寿命の延伸や広域的な健康づくり等に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○夜間成人診療所の運営

- ・夜間成人診療所の効率的・効果的な運営を進めるとともに、2018年度(平成30年度)からの新たな協定書の締結に向け、地区医師会と協議を進める。
- ・出務医師の参加など、さらなる広域的な連携についても推進していく。

○圏域内公立病院等連携事業

- ・知識や技術の標準化及び向上を図るための多職種による教育・研修や診療材料費等の削減を図るための共同購入の実施について検討する。

- 社会福祉法人・社会福祉事業等の適正運営とサービスの質の向上（関連事業者への研修や集団指導）
- 地域包括ケアシステムの構築
 - ・地域包括ケアの普及啓発を図るため、関係団体や住民を対象とした講演会を開催するほか、医療介護連携や金融機関との連携等を進める。（チャレンジフォーラム【尾道市】）
 - ・備後圏域地域包括ケア資源マップの活用を促し、掲載内容の充実を図る。
 - ・市民後見人養成講座を圏域へ拡大する。
- 子育て応援センター「ことばの相談室」（圏域で発達に課題のある子どもの支援に携わる職員の資質向上）
- 子どもの発達支援の研究（備後圏域発達支援研究会）
 - ・発達支援に係る講演会の開催や、実態把握のためのアンケート調査等を通して、発達支援に係る提言や人材育成に関わるシステムの構築に向けた研究を行う。
- 【新】産後ケア事業
 - ・妊産婦に対して、宿泊や日帰り型で、産科医療機関や助産師等から育児のサポートや産後の休養などのケアが受けられる。
 - ・出産後の家庭にヘルパー等を派遣し、家事・育児援助を行うシステムを構築する。
- こども発達支援センターの共同運営
 - ・こども発達支援センターの共同運営を行うとともに、ネットワーク協議会等において、発達支援に係る情報共有及び必要な支援を検討する。
- ボランティアの共同育成と広域的な活動の推進
 - ・広域的なボランティアの育成に向けて、食生活改善推進員等の活動に対する意見交換や養成講座の見学等を行い、知識やノウハウ等の共有を図る。

(2) 広域化による住民サービスの向上

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 災害に関する安心・安全の確保	防災士資格取得者数	2016年度実施結果を反映	360名 (2019)	圏域における「災害時の相互応援に関する協定書」に基づき、広域的な連携による復旧支援等、圏域住民の安心・安全の確保に取り組む。
イ 環境に配慮した循環型社会の構築	ベスト運動会員数	19,700人 (2014)	21,300人 (2019)	環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会を構築するための広域的な取組等、地球にやさしい環境づくりを推進する。
ウ 行政サービスの向上	圏域住民アンケート調査「行政サービスの連携」DI値	△22.5%ポイント (2014)	±0%ポイント以上 (2019)	共同利用可能な情報システムの整備に向けた調査・研究等を行うとともに、地域の課題解決や新たな価値の創出に資する情報を公開するための仕組みづくりに取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

- 地域防災を担う人材の育成(防災士養成講座)(備後圏域関係市町に拡大して実施(井原市, 笠岡市を除く ※類似制度あり))
- ベスト運動(イベント等におけるベスト運動の周知, 小学校への出前講座, 企業へのPR強化)
- 【新】自治体クラウドの推進(共同利用に向けての調査・検討会議の実施)
- 備後圏域 情報発信強化事業(圏域市町の広報媒体を通じた情報発信)
- 【新】備後圏域消費者行政連携事業
 - ・弁護士会と連携した債務関連相談や消費生活出前講座等を圏域に拡大し、消費生活相談員のスキルアップや啓発活動の充実を図る。

(3) 地域活性化の推進

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 農林水産物を活用した地域活性化	圏域住民アンケート調査「自慢できる特産品がある」DI値	6.3%ポイント (2014)	10.0%ポイント以上 (2019)	圏域内の農林水産物を地域の産直市や学校給食等に活用することで、安心・安全な食の確保、地産地消・食育等の推進に取り組むとともに、道の駅等を活用した地域活性化に取り組む。
イ 公共交通体系とデマンド交通の検討	圏域住民アンケート調査「公共交通機関が充実している」DI値	△35.7%ポイント (2014)	±0%ポイント以上 (2019)	住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通体系と圏域の市町のデマンド交通の在り方の研究に取り組む。
ウ 大学を活用した地域活性化	圏域住民アンケート調査「大学・研究機関が地域の発展などに貢献している」	△39.1%ポイント (2014)	±0%ポイント以上 (2019)	圏域内の大学等と協力し、地域課題の解決やにぎわいの創出に向けた事業について研究を行う。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○道の駅等のネットワーク化

- ・圏域内の9ヶ所の「道の駅」等でスタンプラリーの開催や若者向けのイベントに出店することにより、新たな顧客を呼び込む。

○備後圏域PR事業

<BINGOフェスティバルin三原【三原市】>

- ・備後圏域の地域資源をPRするBINGOフェスティバルを「三原さつき祭り」と連動して開催する。(2016年度は福山市(100周年イベント・首都圏のイベント)で開催)

<【新】「まるごとこっぽん」への出展>

- ・東京の浅草にある「まるごとこっぽん(全国市町村のアンテナブースなど)」に備後圏域として出展し、特産品などのPRを行う。

○備後フィッシュフェス

- ・備後フィッシュを使った様々なグルメを堪能できるイベントを開催し、備後フィッシュをPRする。

○尾道スイーツコンテスト【尾道市】(尾道の農産物を使った新たなスイーツ開発(事業者は圏域から募集))

○水産まつり【尾道市】(尾道市水産振興協議会主催で、水産まつり(水産物販売・各種イベント等)を開催し、地魚をPRする。)

○福塩線・井原線を活用した地域活性化事業

(4) 定住促進

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 備後圏域定住促進事業	人口社会動態	△1,574人 (2012)	±0人 (2019)	圏域外からの住民の移住を促進するため、UIJターンの希望者に対するPR活動を始め、学生を対象としたインターンシップの実施等に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○備後圏域定住促進事業

<定住促進> 首都圏での「ふるさと回帰フェア」への出展や移住体験ツアー等を実施する。

<地域おこし協力隊> 備後圏域で活動する地域おこし協力隊員を対象に合同研修会を開催する。

<【新】定住パンフレット作成事業【神石高原町】> 定住パンフレットの作成

<【新】婚活イベント開催【神石高原町】> 神石高原町と福山市を対象範囲として開催

○備後圏域プロモーション事業

- ・備後圏域ウェブサイトを活用し、圏域外に進学した圏域出身の学生に備後圏域の暮らし等を発信することでUターン等の促進を図る。
- ・備後圏域の地域資源の魅力やイベント等を効果的に発信し、人を呼び込むことで地域経済の活性化につなげる。

(5)圏域マネジメント能力の強化

事業名	指標項目	基準値	目標値	事業概要
ア 人材の育成と人材ネットワークの構築	圏域住民アンケート調査「生涯学習のための講座や施設が充実している」DI	△1.1%ポイント (2014)	±0%ポイント以上 (2019)	生涯学習等を通じて、地域の課題解決や魅力発信につながる人づくり・地域づくりを推進する。 自治体職員については、合同研修や交流により資質の向上に取り組む。

2017年度(平成29年度)事業計画概要

○自治体職員の人材育成(圏域市町の職員を対象とした合同研修会, 人材育成担当課による意見交換会の開催)

○【新】人材ネットワークの広域活用(備後圏域生涯学習講師派遣事業)

- ・びんご人材ネットワークを設立し、圏域住民の知識や技能などの学びの成果を生かす場を提供することで、圏域全体の生涯学習の活性化を図る。

区分別事業費

1 圏域全体の経済成長のけん引 158,940千円

事業数:22

2 高次の都市機能の集積・強化 407,205千円

事業数:7

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 191,469千円

事業数:27

総事業数:56 事業費合計 757,614千円

備後圏域連携中枢都市圏及び備後圏域連携協議会全体スケジュール(案)

2017/7/6現在

		2017年(平成29年)						2018年(平成30年)					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連携中枢都市圏構想	会議の役割 P・D・C・A												
	■びんご圏域ビジョン	連携事業の実施・進捗管理						ビジョンの中間報告等			ビジョンの更新		
	びんご圏域活性化戦略会議 +承認	■戦略会議 第1回(7月6日) 福山市 ・前年度の事業報告 ・今年度の事業計画等						■戦略会議 第2回(10月下旬) 福山市 ・進捗報告 ・中間評価の報告 ・研究部会・ワーキング報告 ・新年度事業案 ・連携協約の変更等			■戦略会議 第3回(2月) 福山市 (ビジョン更新) ・事業費見込額の変更 ・文章等の時点修正 (連携協約の変更)		
	研究部会	■研究部会(8月～9月) ・連携事業の検討等						■部会長 合同会議 (10～11月) (福山市)			■研究部会 ・次年度に 向けて ・進捗報告		
ワーキング	■ワーキング(6月～9月) ・連携事業の検討等									■ワーキング ・次年度に 向けて ・進捗報告			
備後圏域連携協議会 首長会議		■第1回 (4月6日) 福山市	■第2回(5月30日) 福山市 ・前年度の事業報告 ・今年度の事業計画等			■全国会議 8月7日～8日(福山市) ・全国23圏域の代表者 が集まり、連携中枢に	■第3回(9月) 笠岡市 ・進捗報告 ・中間評価の報告 ・研究部会・ワーキング報告 ・新年度事業案 ・連携協約の変更等				■第4回(1月下旬) 井原市 (ビジョン更新) ・事業費見込額の変更 ・文章等の時点修正 (連携協約の変更)		
備後圏域関連イベントなど (予定のものも含む)		■BINGOフェ スティバル (5月27日、 28日) 三原市		■おすすめ ふるさと夏祭 り(まるごと にっぼん7月 15日、16日、 17日) 東京都		■備後フィッ シュフェス(9 月30日) 福山 市	■備後府中 食博29(11月 5日) 府中市 ■ボランティ ア全国フォー ラム2017 (11月18日、 19日) 福山市 ■水産祭り (11月) 尾道 市	■BINGO フェスティバ ル(12月23 日) 東京都			■2017尾道 スイーツコン テスト(2月) 尾道市		